

授業科目名 (英文名)	オペレーションズ・リサーチ (経営 学部・専門科目) (Operations Rese arch)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	
担当教員	藤江 哲也	所属	
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的 オペレーションズ・リサーチ (Operations Research, OR) による問題解決・意思決定のプロセスや手法を学ぶ。具体的には、ORのアプローチとして重要なモデル化および解の導出を、いくつかの代表的な問題に対して行うことを目的とする。</p> <p>到達目標 本講義を学ぶことにより、経営における意思決定あるいは現状分析のツールとしてORを理解し、使いこなせる能力を養成することが目標である。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 本講義の前半は、ORの考え方や方法を中心に講義する(授業計画の3～9)。その際、表計算ソフトExcelを用いた演習も行う予定である。後半は、ORの理論的側面について講義するとともに、前半で扱うことができなかったトピックスを取り上げる。</p> <p>授業計画 各項目について数回の講義を予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. ORの歴史 3. OR実施の手順と仕組み、モデル化 4. データの収集と分析、予測 5. 在庫管理 6. 線形計画問題 7. 輸送問題、割当問題 8. AHP 9. 経済性分析 10. 線形計画の応用 11. ネットワークモデル 12. 日程計画 13. スケジューリングモデル 14. 待ち行列とシミュレーション 15. 評価 (到達度の確認) 		
テキスト	適宜指示する。		
参考文献	高井・真鍋 (編著) 「問題解決のためのオペレーションズ・リサーチ入門」日本評論社、2000年 (学術情報館に所蔵)		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 ORの基本概念を理解し、典型的なモデル化や計算方法を身につけた者に単位を授与する。</p> <p>講義目的・到達目標に記載する能力 (知識・技能、思考力、判断力、表現力等) の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 授業時間中の小テスト30%、レポート30%、定期試験40%</p>		
履修上の注意・履修要件	「ビジネス数学基礎」を履修済みであることが望ましい。配付資料等の予習・復習に加え、Excelの操作に習熟していない場合はそのための予習・復習が求められる。		
実践的教育	該当しない。		
備考	担当教員の専門分野はOR、特に数理最適化である。本講義では、OR全般について理論と実際のバランスを考慮しながら解説する。		